

ひびき

女性会連盟ニュース

第23期主題

「共にいてくださる主を信じて」

～信仰と、希望と、愛～

主題聖句：それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。コリントの信徒への手紙一 13章 13節

発行：日本福音ルーテル教会女性会連盟

発行者：芳賀美江

片岡輝美さんのプロフィール

福島県に生まれ。1985年、夫・片岡舘也牧師の日本キリスト教団若松栄町教会着任に伴い、故郷会津若松に帰り、息子4人を育てました。

2005年、九条の会・西栄町学習会を結成し「自分のことばで平和を語る」をモットーに、月例学習会やピースウォークや講演会などを企画してきました。2011年3月11日、福島原発事故が起き、15日から2週間義弟宅（三重県鈴鹿市）に四男、妹親子と避難。3月末に会津若松に戻り、同九条の会メンバーを中心に同年7月に「会津放射能情報センター」を設立し、代表となりました。著書に「今、いのちを守る」（日本キリスト教団出版局）などがあります。

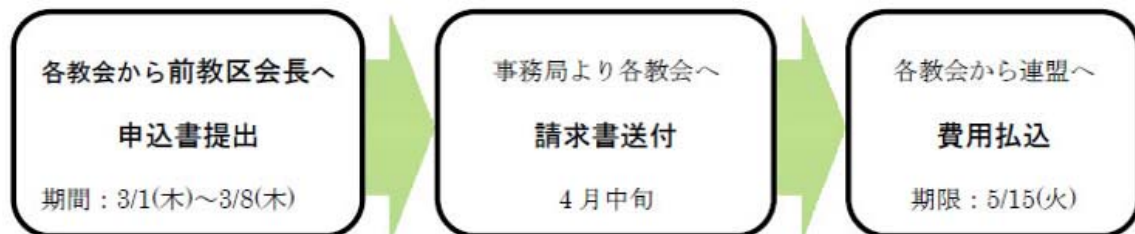


会津放射能情報センター：<https://www.aizu-center.org>の活動の柱はふたつあります。ひとつめは「安全かどうかは、自分で決める」。空間線量の測定や、食品測定器2台による食品・土壌・衣類などの約2600検体の測定を継続しています。ふたつ目の柱は「私たちはひとりではない」。定例のしゃべり場や内科医や精神科医による健康相談会、学習会などを開催し、放射能を恐れ、子どもの生命を守りたいと願う人々をつなぎます。春夏休みには保養プログラムを実施しています。2012年より保養施設「にいがたはうす」を日本キリスト教団新潟教会と共同運営しています。

総・大会プログラム

6月7日（木）大会	6月8日（金）総会
12：30 受付	8：30 受付
13：30 開会礼拝 召天者記念礼拝 聖餐式	9：00 祈り 議事Ⅰ 報告
15：00 基調講演 片岡輝美氏 「主に喜ばれることを吟味する～福島原発核事故7年目のメッセージ」	10：00 議事Ⅱ 審議
16：30 休憩・チェックイン	昼食
16：45 分科会	13：00 議事Ⅲ 審議・役員選挙
17：45 休憩・チェックイン	15：00 総会議事事項確認 新役員紹介 前役員退任挨拶
18：15 愛餐会	15：30 派遣礼拝 役員就任式
	16：00 終了

連盟総・大会の申込み方法



総・大会参加申し込み先は皆さまの教区の今年2月（北海道特別教区は昨年11月）まで会長をしてくださった前期会長宛です。申し込み要項に宛先等を記載しておりますので、お間違いないよう郵送かファックスいずれかの方法でお申し込みください。メール送信をご希望の場合は連盟事務局までお申し出ください。申込書のフォームをお送りいたします。

申し込み用紙は教区で纏まり次第、女性会連盟事務局に送られます。各教会への総会資料、請求書は事務局から郵送されます。

なお、お申込み後の参加キャンセル等は**連盟事務局**にお手数ですが必ず書面(電話以外)にてお知らせ願います。

申し込み先として前期会長が快くお引き受けくださいましたこと、感謝いたします。

！宿泊はメルパルクを含めてご自身でご予約をしてください！

※メルパルクは1泊朝食付きでシングル8,200円です。お早めにご予約をお願い申し上げます。

（「ルーテル女性会連盟」と一言伝えてください）

※メルパルク付近にはホテルルートイン名古屋今池南、ホテルレオパレス、名古屋駅付近にはビジネスホテルが多数あります。

※遠方からの参加者は宿泊付き航空券、JRが安価に入手できそうです。

総・大会でお会いしましょう！

女性会連盟会長 芳賀美江

今年の冬は例年になく寒い日が続いています。雪の多い地域では積雪量が非常に多く関東地方でも積雪があり他の地域でも気温が低く春が待ち遠しく思われます。

総・大会まで後、4ヶ月になりました。普段はなかなかお会いできない全国の姉妹方と集い積もるお話ができる時でもあります。またこれからの連盟のあり方を考える総会では皆様のお考えをお聞きできる機会でもあります。

今回は日本列島の中間にある名古屋で行われます。大勢の皆様がお集まり下さることを願っています。各教会で誘い合って是非お出かけください。

第24回総会議事の紹介

来る総会にて下記の議事を考えております。限られた時間で速やかに議事を進行いたしたく、事前に皆様にお考え頂きたく本誌に掲載いたします。

・6号議案：慶弔規定の新設

内規第11条 慶弔規程の新設

理由：今まで慶弔にかかる規定がなかった為

・7号議案：規約の改正

① 規約第3条2項の改正（北海道特別教区解消）

理由：北海道特別教区が2017年11月解消による北海道の各教会の「婦人会」・「女性会」の連盟への参加の途を確保することが狙い。

② 規約第5条の改正（正議員数の変更）

20名以下—1名、21～50名—2名、51名—3名

理由：平等、大きな教会も小さな教会も同じ意見を提出できるようにしたい。将来的に1教会1正議員を目指す

③ 規約第7条の改正（連盟役員の数）

役員構成「5名」を削除 本総会時より施行。

理由：北海道から連盟担当役員が選出されていない状況が続いている。現在4名で役員会を構成し、運営上問題がない。

④ 規約第8条の改正（会長選出方法の変更）

会長選挙をなくす。連盟役員は連盟担当役員として選出された中で互選する。本総会時より施行。

理由：各教区の代表で役員に選出され、連盟の役割担当に過ぎない

⑤ 規約第10条の改正（会計監査人の選出の変更）

信任投票→承認へ改正。本総会時より施行。

理由：会計監査の人選は役員会に一任していただき、総会時承認という形式にすることによって、総会の時間短縮。

・その他審議事項

① サバ神学院への献金の継続

理由：サバ神学院への献金は連盟が長年継続している世界宣教の働きであることの意義を再確認するため。

② 主題と活動方針

総主題：神の恵みによって共に生きる

副主題：喜び、励まし合い、思いを一つ、平和を求める

聖句：ローマの信徒への手紙6章8節

理由：少子高齢化、価値観の多様化の時代、社会には人権の軽視による力の誇示・強さが見られ、そこには抑圧と暴力が潜んでいます。キリスト者として私達はこのことに注視し、神の恵みのうちに、喜びを持って、お互いに励まし合い、思いを一つにし、平和を求めて、共に生きることを願うものです。

活動方針

1 もっと社会へ目を向けよう 2 年2回の情報発信 3 聖書研究によるみ言葉の学び 4 感謝献金による国内外への宣教と支援 5 次世代への信仰継承と伝道教育の奉仕支援 6 物品販売による震災支援—海産物、缶詰、布ぞうり、つるしびな

第24回連盟総・大会に向けての日程

月 日	予 定
2月上旬 20日 下旬	総・大会参加申込書類各教会に発信、「ひびき」、ポスターとともに 「会員数調査表」締め切り（23期教区会長→事務局へ） 申込書チェック用正議員等名簿送付（23期教区会長宛）
3月1-8日(木) 上旬 中旬	参加申し込みの期間（教会→23期教区会長へ） 前期会費等納入依頼（教区会計宛） 申込書チェック、事務局提出（23期教区会長→事務局へ）
4月7日 中旬 15日 26-27日	第3回現地実行委員会 総・大会費用請求書送付（事務局→各教会へ） 「会報156号」と共に、「総会資料」発送 第11回役員会および新連盟担当との打ち合わせ
5月15日 下旬 30日	総・大会費用払込締め切り（各教会→連盟の振替口座） 第4回現地実行委員会 前期会費等納入期限
6月6日 7-8日	役員・現地実行委員最終打ち合わせ 名古屋にて第24回女性会連盟総・大会開催



世界祈禱日へのお誘い

女性会連盟副会長・会計 根本明子

毎年年初に年間の予定を書き込むとき、三月の第一金曜日の欄に「世界祈禱日」と記入される方も多いのではないかと思います。「世界祈禱日」は文字通り世界が同時に祈るときです。米国で1887年に始まったこの運動は1992年現在170か国が参加。日本は1931年から開始。（創立75周年記念誌「精霊に導かれて」より抜粋）日本では11の教派が参加していて、世界祈禱日開催のために各教派交代でその実現のために働かれています。今年2018年はルーテルの当番です。昨年よりNCCの担当の方が何度も会議を開き、都度教区役員会で報告をしていただきました。

今まで、恥ずかしながら名前も知らなかった国や島々（単に勉強不足？）からのメッセージが多いのですが、今年は「スリナムからのメッセージ」です。南アメリカの北東部に位置する国です。スリナムでは今何が起きているのか？国には国の大小に関係なく、様々な問題があります。その問題で人々はどのような影響を受けたのか？また、普段の生活はどのようなものなのか？共に学び、考え、祈りましょう。それぞれお友達をお誘いくださり御参加ください。世界中が心をつなげて祈るときです。私たちも世界の祈りの輪に入り、共に祈りましょう。